

2013 年 5 月 28 日

報道関係者 各位

東大グリーン ICT プロジェクト事務局

「東大グリーン ICT プロジェクト」成果発表会開催のお知らせ

1. 発表日時：2013 年 6 月 5 日（水）13：50～17：00

開場時間：13:40

2. 発表場所：東京大学本郷キャンパス 工学部（新）2 号館 241 講義室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

3. 発表者：東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

その他、プロジェクト参加組織代表者

4. 発表概要：

「東大グリーン ICT プロジェクト」(<http://www.gutp.jp/>) の 2012 年度の活動成果を公開する、プレスカンファレンスおよび成果発表会を開催致します。

5. 発表内容：

東大グリーン ICT プロジェクトでは、2008 年 6 月より東京大学本郷地区の工学部新 2 号館を実証実験フィールドとして、ICT を活用した省エネ実現のモデルケース確立に取り組んでいる。

2012 年度は、2011 年 3 月に国際標準化規格として承認された IEEE1888 の標準化／普及活動を引き続き積極的に行い、米国 NIST が運営する SGIP (Smart Grid Interoperability Panel) B2G (Building-to-Grid) の COS (Catalog of Standard) 候補入りを果たしたり、IEEE1888 の拡張の標準化（運用管理、セキュリティ）活動に従事した。本発表では、これら標準化関係の取組み状況を発表する。

また、本年度新たにデータセンターにおける新技術と先進的エネルギー管理・制御技術の相互接続性の確立と技術標準化を検討するための分科会を立ち上げており、その取組み概要、方針等を発表する。

## 6. 発表会スケジュール

13:40 開場

13:50 - 14:30

- (1) プロジェクト全体成果報告 (20分)

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

- (2) DCEM WG 設立 (取組み概要) 報告 (20分)

WG メンバー

14:30 - 16:00 『東大グリーン ICT プロジェクト』 成果報告会

- (1) コンセプト WG 成果報告 (15分)

WG 主査 中島 高英 (シムックス株式会社)

- (2) 見える化 WG 成果報告 (15分)

WG 主査 伊藤 公祐 (株式会社ユビテック)

- (3) 制御実証実験 WG 成果報告 (15分)

WG 主査 藤村 文雄 (アズビル株式会社)

- (4) プロトコル標準化 WG 成果報告 (15分)

WG 主査 落合 秀也 (東京大学)

- (5) 設計標準化 WG 成果報告 (15分)

WG 主査 藤原 孝行 (公益財団法人 東京都環境公社)

※ 成果報告後、15分程度質疑応答を予定

16:00 - 17:00 GUTP の成果を活用した各社の取組み事例紹介

- (i) 各社の取組み事例紹介

- (ii) デモ展示

## 7. 問い合わせ及び参加申込み先:

東大グリーン ICT プロジェクト事務局

〒101-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

株式会社三菱総合研究所

担当: 中村 秀治・吉田 薫・橋田理恵

TEL: 03-6705-6016 FAX: 03-5157-2195

E-mail: gutp-info@gutp.jp

## 8. 東大グリーン ICT プロジェクト:

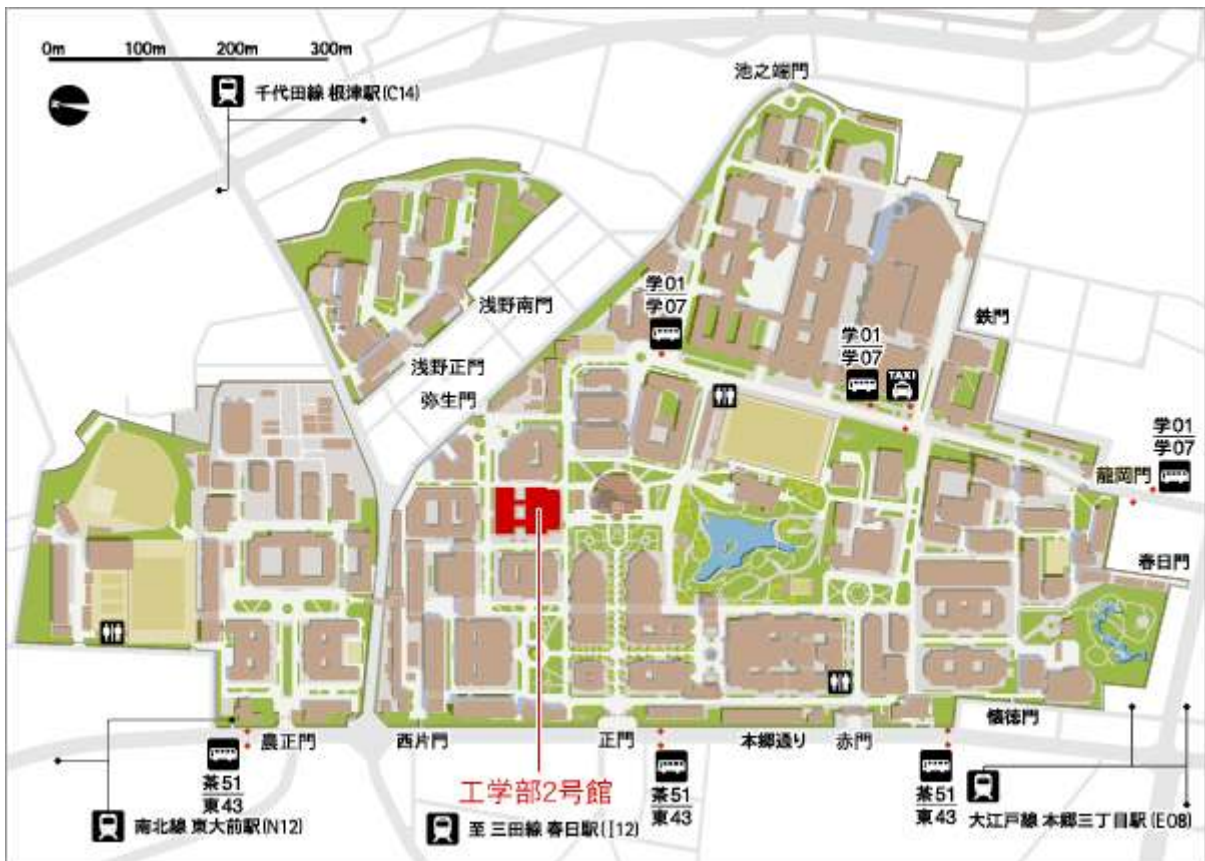
国立大学法人東京大学 (総長: 濱田 純一、以下東京大学) が、2008年6月9日に大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授を代表として、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して発足させたグリーン東大工学部プロジェクトを、2010年4月1日に全学の

活動として再組織した。

東京大学本郷地区の工学部新2号館（2005年竣工 地上12階 総合研究教育棟）をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、ITによる省エネとIT環境自体の省エネの両立を実証する。設立発起人（詳細は、「発起人・組織リスト：<http://www.gutp.jp/members/>」を参照）を中心に、技術規格標準化関連団体、建設会社、建設設計事務所、ハードウェア・ソフトウェアベンダー、インテグレーター、通信事業者などファシリティーの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティーの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいる。

## 9. 添付資料：

（会場地図） 東京大学本郷キャンパス 工学部（新）2号館



以上